

平成 26 年度 研究計画書

Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ I 教授
氏名 Name	大津智彦
専門分野 Academic Field	英語学

平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	英語統語法の歴史的発達				
研究計画 Research Plan	<p><i>doubt</i> に続く従属節には次の 4 つのパターンが考えられる。</p> <p>(a) I doubt we'll make a profit on it. (b) I doubt that we'll make a profit on it. (c) I doubt if we'll make a profit on it. (d) I doubt whether we'll make a profit on it.</p> <p>上記の構文において、従来、従属節の接続詞によって互いに意味上の違いが生ずるとされてきたが、近年、特に(b)と(d)の間にはそのような差異は失われたという見解が見られるようになった。この点を検証するため、COHA(Corpus of Historical American English)の 1900 年から 2009 年部分を利用し、<i>doubt</i> の後に続く接続詞が <i>whether</i> と <i>that</i> の場合の頻度推移を調査するとともに、抽出された例文の意味を文脈も含め吟味することによってどちらか一方が生起しやすい環境の有無を明らかにする。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	英語学				
キーワード Keywords	英語史	近代英語	接続詞	doubt	コーパス